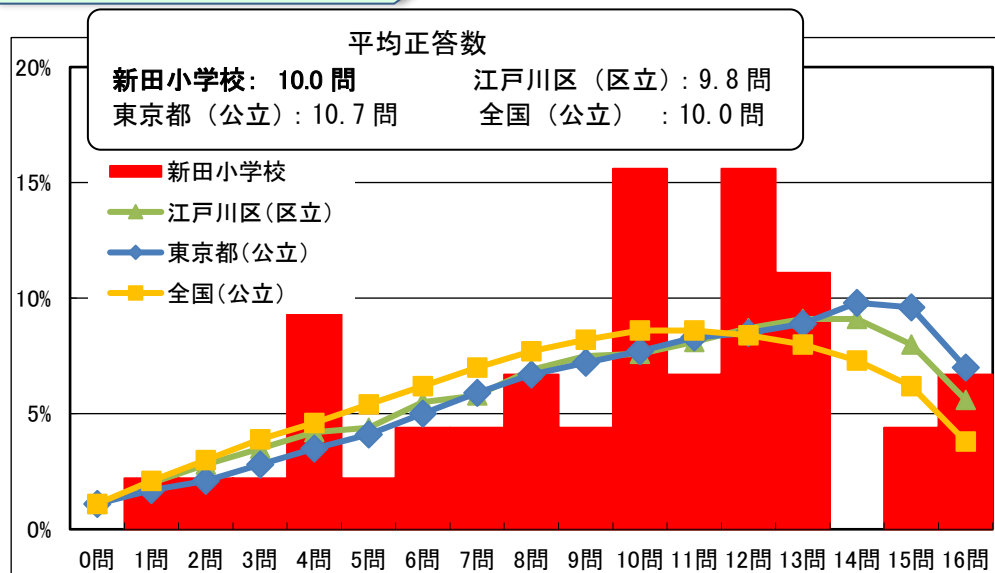


# 令和 7 年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【算数】 新田小学校

## 正 答 数 分 布



## < 四分位における割合 (都全体の四分位による) >

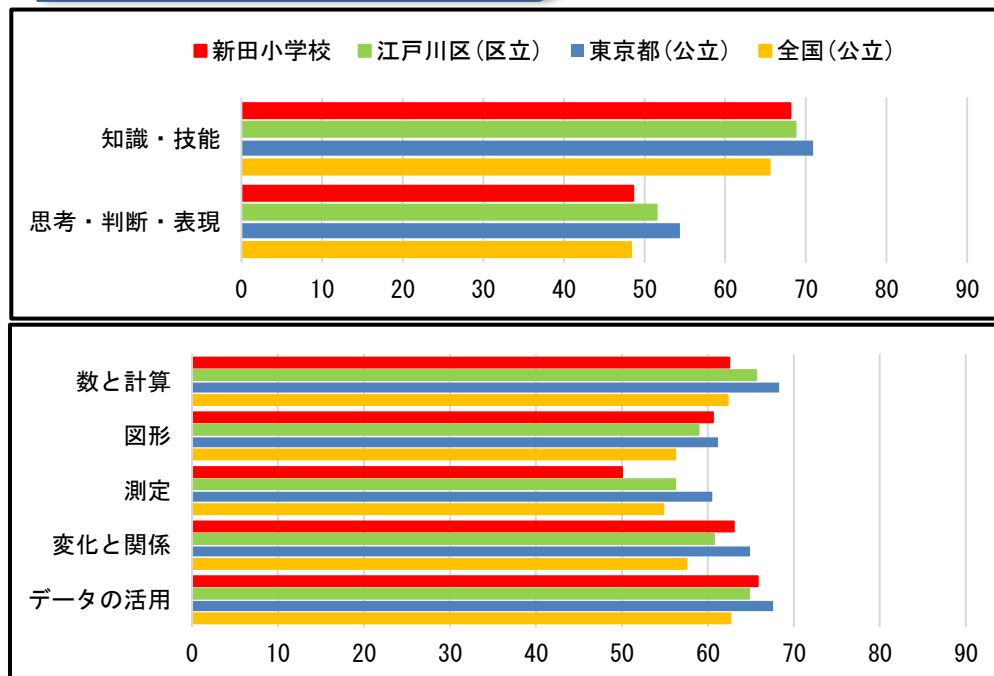
| 算 数       | 上位 ←           |                | → 下位          |              |
|-----------|----------------|----------------|---------------|--------------|
|           | A 層<br>14～16 問 | B 層<br>11～13 問 | C 層<br>7～10 問 | D 層<br>0～6 問 |
| 新田小学校     | 11.1           | 33.4           | 31.1          | 24.3         |
| 江戸川区 (区立) | 22.7           | 25.9           | 27.9          | 23.5         |
| 東京都 (公立)  | 26.4           | 25.7           | 27.5          | 27.5         |
| 全国 (公立)   | 17.3           | 25.0           | 31.5          | 26.3         |

## 【平均正答率の差】

|           |        |
|-----------|--------|
| 新田小学校     | 60%    |
| 江戸川区 (区立) | 61%    |
| 東京都 (公立)  | 64%    |
| 全国 (公立)   | 58%    |
| 都との差      | 4 ポイント |

%

## 「領域別」の結果



## 【分析結果と授業改善に向けて】

本校の平均正答率は 60% で、全国 (公立) の平均を 2% 上回った。東京都平均については、4% に迫っている。領域別に見ると、思考・判断・表現は全国平均とほぼ同率だが、知識・技能は上回った。問題の内容で見ると、測定以外は上回っている。四部位における割合を全国 (公立) と比較すると、A 層で 6 ポイント減少している。不注意な誤りをなくす指導が必要である。B 層は大きく平均を上回っているため、今後も学力を伸ばしていく。全体として児童の課題解決の意識を高め、活動の手順を明確にし、進んで取り組むよう支援する。

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、児童数の 1/4、2/4、3/4 にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって児童を A、B、C、D 層に分けた時のそれぞれの層の児童の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都 (公立) のデータを基に定めている。